

令和3年度第1回伊賀市スポーツ推進審議会会議録

日時：令和3年4月30日（金）午後2時～

場所：市役所本庁舎 2階202、203会議室

出席者：松寄敏之、坂口輝三、田中栄一、宮田久一、栗野仁博、山下明子、福壽勇、山本志賀子、辻喜嗣、樋口優子、山本いずみ、中森正一、藤山企画振興部長、風隼企画振興部次長、岡本スポーツ振興課長、宮田主査、安場

事項1 あいさつ

2 協議事項

- (1) 伊賀市スポーツ施設再編・整備計画（伊賀市スポーツ施設ストック適正化計画）（中間案）のパブリックコメントの結果について
- (2) 伊賀市スポーツ施設再編・整備計画（伊賀市スポーツ施設ストック適正化計画）（最終案（答申案））について

3 その他

1 あいさつ

- ・スポーツ振興課宮田司会進行
- ・松寄会長あいさつ
- ・資料の確認
- ・人事異動の職員による挨拶
- ・出席委員数の確認を行い会議の成立を報告

2 協議事項

（会長）

それでは審議に入りたいと思います。まず、協議事項の（1）伊賀市スポーツ施設再編・整備計画（伊賀市スポーツ施設ストック適正化計画）（中間案）のパブリックコメントの結果について事務局からお願いします。

【資料1】 伊賀市スポーツ施設再編・整備計画（伊賀市スポーツ施設ストック適正化計画）（中間案）のパブリックコメントの結果について

【資料2】 伊賀市スポーツ施設再編・整備計画（伊賀市スポーツ施設ストック適正化計画）（最終案（答申案））について

(会長)

ありがとうございます。この件で他の方ご意見ございませんか。

(委員)

阿山のキャンプ地の話ですが前回の会議の時はまだまだ海のものとも山のものともわからないというような内容だったと思うのがあれからしばらくたって現時点での現状というのはどのようになっていますか。

(事務局)

皆様もおっしゃっていただいた通り去年正月明けくらいに会議をさせていただきまして、その後会議を予定していたのですがコロナの関係で先般まで会議がとんでおりまして、今の状況から申し上げますと一定の参加される企業さんにアンケートを出されたということで、その結果がまとまってきたという状況です。

そこで企業さんが一番懸念をされていることはなんですかと聞かれたら、まずスポーツ、宿泊、物産という異業種が1つのエリアに集まっているので、それを最終的に自分のところでコーディネートしていくというようなことがなかなか難しいというようなご意見が多かったと聞かさせていただいております。それともう1点はこのコロナの状況で先が見えない中で企業さんも積極的な投資であるとか思い切った行動をするということがなかなか難しいと聞いております。

ということで、今後はこのような懸念事項も含めて公募をする参加事業者を募っていくのであれば、こういうことをしてくださいというような仕様書を作っていく作業をしていくというような形で聞いております。

(会長)

くノーさんについての質問に対してはどうでしょうか。

(事務局)

委員さんもおっしゃっていただいたように民間さんの懐にまで踏み込んだことは我々でもどうかということはありません。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。回答文はかなり突っ込んだ表現になっておりますので、例えばですが、プロ化整備財源にはまず運営に携わられる方による運営方針の樹立などが欠かせないと考えており、そういったこと以外にもということで運営に携わる会社の中のお金の話は確かに書きすぎる部分もあるかなと思いますので、パブコメの回答意見の中からは外させていただきたいと思います。

(事務局)

それと整備の方向です。委員さんも十分ご理解をいただいていると思います。ただ具体的な整備計画があるのかある程度夢を描くのも1つの方法だと思っております。ただ10年先のことですので大きな計画を作るということは1つの方法なのですがやはり現実を見てみるとまずは整備するには何が必要かということをもつずつ整理していく必要があると思います。どういった整備をしていけばあそこの場所で可能かどうかということも1つの方法ですし、違うなら違う場所で用地を確保してというような課題もできます。

あとはやはりお金が出てくるということで我々は一般的な体育施設の整備をしていく中で+αを捻出していくにはどうすればよいのかというような1つの考え方という風に考えております。ですので計画全体に言えるのですが、ある程度重点なところに回すためには何かを削るなり減らしてどこかに持っていくというようなスタンスでしておりますのでこのような記載にさせていただいております。委員さんのおっしゃる通り後退したなということはそういった部分もあるかもしれないですが、現在具体的に整備をしていくとこういった課題があります、というような意味で書かせていただいております。

(委員)

ありがとうございます。十二分に難しいことがあることはわかっていますし、今我々も指をくわえて待っているのではなくいろいろ動いていることも事実ですが、先ほども言いましたが、34ページの赤字の部分で運営に携わる方が主体となってというこれはわかるのですが、今ある施設を改修しようとするのであれば市の持ち物ですので我々が主体になれない部分も出てきます。ですので「市も連携して」や、「市も共同をしながら」というような文言を合わせて入れていただくことによって初めて官民一体のPFI方式も含めてですが様々なことが考えられるのではないかなと思っております。文言の1つ1つを言えばきりがないかもしれませんがこの文章だけを見ると主語が完全に伊賀FCくノ一三重になっており市の整備計画であるにも関わらず市は指をくわえて見えていますよという風に見える気がするのでそこは1度ご一考いただきたいと思っております。

(事務局)

修正案が少し後退したのではないかというご意見です。今回10年間の整備計画を策定するにあたりましてこれは確かに大きな課題ということで市の方では議会からの請願が出ているというのはご承知の通りです。現時点でこの計画書をこの時期

に文字化するという段階に置かまはしては、当然運営主体さんだけでなく市も含めて今後様々な検討を進めていく必要があるのかなというところで様々な検討という書き方をさせていただいております。当然施設改修ですので、市の施設ですべきことはあるでしょうし運営主体さんの方でもやっていただくことはあるでしょうが、ただ今の時点で踏み込んだ書き方がなかなかできない状況なのかなと思っております。

今後は一緒になって考えていく検討も含めて又書き以降の書き方で今後我々としては提案させていただいたということです。全部してくださいと言っているわけではなく、あくまでもまずは検討を始める段階なのかなというところで、現時点ではこういう書き方になってしまったのかなと、当然これは計画ですので特にスタジアムを作るといった話が始まるようになりまして大きな計画変更で出てきますのでもう少し具体化した段階では計画の話を進めていきたいと考えております。

(会長)

他の方どうでしょうか。他の件で何かご意見はないでしょうか

(委員)

施設改修ということで理解をできていない箇所があるのですが市営陸上競技場の総合的な話をされているのではないかという風に理解をしているのですが、サッカー場とスタンドが入ると思うのですが以前もコメントをさせていただいたと思いますが周囲のトラックも含まれているのかなと、田中さんも来られていますが陸上大会が今年の5月に伊賀市ではなく名張市で開催をされるということを知りまして、少し寂しいなという思いをしております。名張の陸上競技場は私もグラウンド・ゴルフで使わせていただいたのですがその辺はどうですか。サッカー場そのものとスタンドはもちろんですが、その周囲のトラックなどは10年先の計画に含まれているのでしょうか。

(事務局)

陸上競技場の件です。計画書本体の34ページをご覧いただきたいと思っております。サッカーですのか陸上競技ですのかというようなことも含めてですが今のところ田中委員が1番ご存じの通り公認が今のところ陸上競技場はとれていないということが現状です。やはり陸上の路盤がかなり荒れているということもご覧いただいた通りで実際名張の方に出向いて使っていただいていることが現状だという風に理解をしております。

そういうことも踏まえて個別の具体計画につきましては陸上トラック路盤改修については検討事項という形で挙げさせていただいてはいるのですが、一方では計画

書の59ページ最後の(6)の項ですが、1番は自分のところのものは自分で解決できるということが1番望ましいと思っておりますが、単体で整備をしていくことは皆さまご理解をいただいているところもあると思っておりますが参加規模が伊賀大会、県大会、全国大会という風になると思うのですが、やはり公益的な相互利用ということも1つの考え方なのかなと考えております。そのようなこともふまえて広域的利用あるいは単発で整備、当然ここはくノ一さんの整備も関わってくると思うのですが、そういったことも含めて考えることも必要なのかなと考えております。ですので、今のところ、この年度に路盤を改修するというのはお示しできていないということが現状です。

(会長)

他にございませんか。

(委員)

今陸上競技場の話がありましたが、走路の改修というのは予定しているのですか。

(事務局)

先ほども申し上げましたが走路は荒れている状態です。そのような中で伊賀の大会は伊賀で行うことが一番望ましいことではあるのですが、競技に参加していただいている方は伊賀の方もお見えになりますし、県での大会というのはかなり広い範囲でということもありますので、その辺は名張の方へ出向いていただいているということも聞かせていただいております。

このような形で先ほども申し上げました通り59ページにも書かせていただいておりますが、広域的な利用、例えば伊賀という形で考えると名張の方にグレードの高い施設があるということが現状ですので、そういった利用も踏まえて、それからくノ一さんのこともありますのでそれらを含めてどうしていくかというような形で検討しております。ですので今をもってすぐ直しますということは入れておりません。

(委員)

あの状況を見るとコースはめくれてしまっております。元通りにしようと思うとずいぶんな経費がかかるのではないかと思います。あのグラウンドをサッカー専用のグラウンドにするのであればいくらかかかるのかはわかりませんが、あの場所で面積的に可能かどうかそういったことも検討していただいているとは思いますが陸上競技というのはあのままでは無理だと思います。幸い名張市さんの方であ

るわけですからそれを利用してくださいというのであれば陸上競技場の復活は無理だとおっしゃっていただけたら、サッカー1本でもいいのではないかと思います。我々グラウンド・ゴルフはあの場所で十分で、陸上競技場の走路も活用させていただいております。しかし天候によってあまり入れない場合もあります。我々の競技であれば問題はないのですが陸上競技などの時間的な制約がある競技は無理だと思います。今後どのように扱っていくかノーさんも悩んでいる、ホームグラウンドはどのようにするか、市の方も財政的に大変だとは思いますがもう少し突っ込んで考えていただけたらいいなと思います。

(委員)

本日は陸上競技の方で来ているわけではないですが、いろいろと心配をしていたいただいておりますので陸上競技協会の方から一言皆様に言っていただいたありがたいお言葉などに関しましてお願いということになるのですが、陸上競技場の改修については以前からお話をさせていただいた中で昨年度ははっきり言って見放された答えをいただきました。前次長の方から市に1つのこんなに大きな競技場はいらないのではないかと、隣接市にいいものがあるのだからそっちに行ってくださいという話をいただきました。ということで昨年陸上競技については名張さんと一緒にさせていただくということで協議をつめさせていただいて、本年度から本格的に名張ですということ、伊賀市の大会ですが昨年までは小学生が400人という数の参加者がおり三重県の中でも一番大きな予選会でしたが、今年は名張に行っても200人が来てくれたということですので喜んではいるんですけど、できれば改修をしていただきたいということが本音なのですが、改修するとなればサッカー場以上の改修になると思いますのでお金等もかかってきます。ですのでお金ができれば改修をしていただけたらなと思います。

(会長)

要望ということで聞かせていただいております。

(委員)

陸上競技場の話なのですが今公認をとらないしは改修をするとなった時に9レーン必要だと思います。9レーンを引いたうえでタータンにするというのが一般的な陸上だと思うのですが今あの場所で9レーンは取れないですね。つまり公認を取りにいこうとしてもできないのではないかなと思っております。

(委員)

4種の場合は取れます。8レーンでいいので。ただし今の6レーンのままだと全く取れません。サッカーも同じですが、どこのサッカーコートを見に行ってもあんなに競技場は狭くないと思います。

(委員)

なぜこの話をしたかといいますと現在多角的に当クラブとしてもいろいろ考えてはいるのですが、あの場所でプロ化基準になるようなスタジアムを作ろうとするとやはり陸上走路をつぶさないといけないということが正直な答えです。照明はどうするのかなどの問題はあるのですが、陸上協会さんの方からもあそこはもういいわという言い方はしたくないですし、そういった話にはならないと思うのですが市としてドラスティックに転換をするというふうに進めていただければくノーとしてもその方向でしっかりと進めることはできますのでご一考いただきたいと思います。

(事務局)

サッカーでいくか陸上でいくかということですが、そこはこの場ですぐというようなことは申し上げられないのですが私共で思っているのはこういう課題があるということですのでくノーさんと今後も動いていくことになると思いますのでそれについては今のご意見は参考にさせていただきます。

(会長)

他にどうでしょうか。他にないようですので皆様にお諮りをいたしたいと思います。事務局の提案通りとさせていただいてよろしいでしょうか。大変重要なことですのでこれでよいというかたは挙手いただけますか。全員一致で原案通りとさせていただきます。

続いて事項書3. その他について事務局お願いします

(事務局)

今後の予定も含めてなのですが皆様の方に紙1枚で伊賀市体育施設再編・整備計画について(答申)(案)ということで書かせていただいた紙を持参していただいていると思います。先ほど会長さんの方から議決をとっていただきまして答申案ということでお認めをいただきましたので、この答申の案という紙を付けて市長の方に答申をしたいという風に考えております。すでに中身をご覧いただいていると思いますが類似の零細施設が分散していることによって大きな大会が開催できないことや古い施設が多くなっていることそれから財政面に大きな課題があるということを踏まえて先ほど議決をとっていただきました。それにつきましては今後市の方でし

っかりと片付けしなさいよということを松寄会長の名前で文書を添えて出させていただく予定をしております。今後の予定ですが、今日の答申に基づきまして5月13日に会長、副会長から市長へ答申というような形でさせていただく予定をしております。各マスコミの方にも情報提供をしたいと考えております。その答申をうけまして再度伊賀市の方で関係の庁議という重要なことを決めることができる会議がありますのでそれを経まして、議決案件ではないのですが、議会の方に報告をさせていただき、今後の整備事業を10年ほどかけてしていくというような形で考えております。スケジュール案についてはそのような形で考えております。

(会長)

これに関してご質問ご意見はございませんか。また、皆様方からその他ご意見はございませんか。

(意見無し)

他にないようですので本日の議事を終了させていただきます。議事の進行にご協力いただきましてありがとうございます。

了